

活動をされている方をお呼びする予定ですのでぜひご参加くださいね。次回は9月開催予定です。

疲れと歯の痛み

7月のはじめ、あるところで研修会の講師をすることになりました。それ自体は特に問題もないのですが、寝苦しい日が続いており、寝不足で集中力も途切れ、結局寸前に2日ほど徹夜して準備をする羽目になってしまいました。



問題はここからです。研修会も終わり、ホッとした翌日、睡眠不足からか身体が重く、ボーとしていました。そして、もう一つの異変が生じていました。左上の系切り歯の痛み。ズキズキ痛むわけではないのですが、触るのも嫌になってしまいくらいの嫌悪感があり、恐る恐る

る触っていると、その後ろの歯も痛いような気がしてきて：

その日は我慢していましたが、翌日は我慢できず、妻に噛み合わせの調整をしてもらいました。それでも痛みは2、3日続き、食事のときは意識的に左に物が入らないよう気がつけていました。今でもアルコールが入ると少し歯ぐきが腫れぼったい感じがします。

心身の疲れやストレスが歯や歯ぐきの痛み、歯のしみに関連することは診療中に何度も説明してきました。何を隠そう、僕の博士論文のテーマも「ストレスと顎関節症」でしたから、よく分かっているつもりでしたが：原因が分かっても痛いものは痛いというのが本音です。

ただ、一つだけ収穫がありました。噛み合わせの調整をするとき、久々に歯を削られるという経験をしました。どんな立場になっても決して気持ち良いものではありませんね。診療いすは昼寝で使うのが一番

と深く感じました。ちなみに治療中は妻をにらみつけていました。

講演会のお知らせ

10月24日(日)、下落合の聖母大学ホールで、聖ヨハネ会桜町病院ホスピス科部長の山崎章郎先生の講演会が開催されます。著書の「病院で死ぬということ」は大変有名ですからご存知の方も多いと思います。

私たちもスタッフとして関わっています。ご興味があれば声をかけてください。チラシをお渡しいたします。

なお、9月からはチケットの販売もできません。(チケット代1500円)